

# 号外保健室だより

平成 20 年 12 月 大正大学保健室

## 新型インフルエンザの対策

新型インフルエンザは、世界的に大流行する可能性のあるインフルエンザです。日ごろのインフルエンザ予防に加えて、大流行が起こった際の対策も知っておくことが大切です。

### ◆新型インフルエンザとは

近年、鳥インフルエンザ（H5N1）が鳥から人に感染する事例が数多く報告されています。この鳥のインフルエンザウイルスが変異し、『新型インフルエンザ』が発生する可能性が危惧されています。

新型インフルエンザとは、人類のほとんどが免疫を持っていないために、容易に人から人へ感染するものであり、世界的な大流行（パンデミック）を引き起こされ、大きな健康被害とこれに伴う社会的影響が懸念されるものです。

### ◆新型インフルエンザの症状は

H5N1 は病原性が高く、これまで東南アジアなどの事例では、発熱、咳など、ヒトの一般的なインフルエンザと同様の症状に加え、下痢を認めた例もあります。また、致死率は 60% 以上と極めて高く、肺炎が主な死因となっています。しかし、症状は現在のところ予測が困難です。

### ◆一人一人ができる新型インフルエンザの予防対策は

#### 流行前

#### 1、外出時のマスク着用。外出後の手洗い、うがい。

手洗いは、よく石けんを泡立てて、手のひら、手の甲、指の間、爪の間まで、ていねいに洗います。



2. 流行地への渡航、人混みや繁華街への外出を控えること。
3. 十分に休養をとり、体力や抵抗力を高める。
4. 日頃からバランスよく栄養をとること。
5. 咳やくしゃみをする際にはティッシュで口元を覆うか、マスクを着用すること（咳エチケット）。
6. 食糧、水、マスクなどを少なくとも約 2 週間分備蓄しておく。

#### 流行後

1. 医療機関に殺到しない。
2. 自宅で正しい情報を収集して、冷静な行動を心がける。  
\* 都道府県や市町村、保健所から情報が提供されますので、随時チェックするようにしましょう。

### ◆国や自治体が行なう新型インフルエンザの予防対策とは

抗インフルエンザウイルス薬（治療薬）の備蓄を行なっています。現在、約 3000 万人分の治療薬（タミフル）が備蓄されています。H5N1 に対するワクチンを、「プレパンデミックワクチン」として製造、備蓄しています。

\* パンデミックワクチンは、実際に新型インフルエンザが発生しなければ製造できません。

### ◆新型インフルエンザにワクチンの効果は

通常のインフルエンザの予防接種は、感染防止の効果がほとんど期待できないと考えられています。新型インフルエンザに対して、効果が期待できるワクチンとして、プレパンデミックワクチンとパンデミックワクチンがあります。

### ◆新型インフルエンザの治療法は

新型インフルエンザの治療は、従来使われているタミフルやリレンザといった、抗インフルエンザウイルス薬が有効であると考えられています。

出典：厚生労働省ホームページ

\* 新型インフルエンザの対策として、一人一人が必要な準備を進め、発生した際は適切に対応していくことが大切です。